



8月14日、ふれあいプラザで平成23年度せたな町成人式が行われ、平成3年4月2日から平成4年4月1日に生まれた対象者90人のうち68人が華やかな装いで出席しました。式典では、高野利廣教育長の式辞に続き、高橋貞光町長、真柄克紀町議会議長からはなむけの言葉が贈られました。これに対し、新成人を代表して木村元貴さん（大成区）と坂本 栞さん（大成区）が「成人宣誓」を読み上げ晴れて大人の仲間入り果たしました。（表紙写真）出席した皆さんが今抱えている将来の夢や希望をたくさん話してくれましたので、その一部をご紹介します。

◆坂井佑衣さん

私は看護師の専門学校に通っています。将来は看護師か保健師になって、何年か経験を積んでからせたな町に戻り、地域に貢献したいと思っています。

◆北川泰斗さん

僕は将来せたな町で実家の薬局を継ぎたいと思っているので、札幌の薬科大学に通って勉強しています。

◆南谷彩花さん

私は調理師の専門学校に通っています。将来は女性には無理だと言われている中華料理のシェフになって、地元か地元が無理ならどこかで自分のお店をもつことが夢です。

◆今西篤史さん

僕は製菓の専門学校に通っています。将来はパティシエになって自分の店を持ちたいと思っています。



編集後記

▼今月も広報9月号の編集にたくさんの方々の協力をいただきました。「事件は現場で起きています」そんなドラマのセリフが以前流行りました。東日本大震災で被災地へ行かれた方。地域で防災に取り組んでいる方。全道大会で結果を出した子供たち。そして目指す将来を語ってくれた新成人。皆さん自分の「現場」で、見たこと体験したこと、毎日の生活の中で感じたり考えていること、その気持ちを熱く話してくれました。▼成人式を2回と少々生きてきましたが、当然知らないことは世の中にはたくさんあり、「現場」で体験してきた話、その人の経験から語られる考えを聞くのはいつも感じますが、とても新鮮です。それが広報でうまく伝わるとうまくいきます。▼20数年ぶりの成人式。元気があって華やかで、みんななんて生き生きしてるんですよ。「歳の差感じるな〜」なんて思いましたが、そりゃそつですわ！普通に私がこの子たちの親の年齢だもん…（濱登）

